

日仏哲学会

*Société franco-japonaise
de philosophie*

会報 105 号 2025 年 2 月 10 日

2025 年春季大会@北海道大学のプログラムが決定しましたので、お知らせいたします。

北海道大学での対面方式を軸としつつ、オンライン（ZOOM）とのハイフレックス式にて開催いたします。懇親会も開催いたしますので、参加される方は事前予約を御願いたします。

今回は学会初の北海道での開催です。遠方にはなりますが、ご無理のない範囲で、会場での参加、あるいは、オンラインでの参加をどうぞよろしくお願い致します。

現地での対面参加の場合、大会当日、そのまま会場にお越しください。

オンライン参加の場合、ZOOM ミーティングの URL や注意事項などについては、大会の一週間ほど前にメールで全会員にお伝えします。連絡を確実に行うため、メールアドレスを事務局に伝えていない方、または変更のある方は、学会ウェブサイトの変更申請フォーム <https://sfjp-web.net/admission/> にて入力を御願いたします。

会費納入については、学会振替口座への振込みとなっております（後掲の「会費納入のお願い」を参照）。9 月に年度が変わりましたので、まだの方は 2024 年度分の振込をよろしくお願い致します。

【2025 年春季大会プログラム（HP にも掲載します）】

日時：2025 年 3 月 29 日（土）

場所：北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟 W 棟（JR 札幌駅から徒歩 10 分程度）

形式：対面＋オンライン会議

一般研究発表 8:30-12:55

発表時間帯 ①8:30-9:10 ②9:15-9:55 ③10:00-10:40

④10:45-11:25 ⑤11:30-12:10 ⑥12:15-12:55

*の付いている発表者はオンラインによる発表。



第1部会 W105 教室（司会：①②③檜垣立哉、④⑤⑥杉村靖彦）

- ① 李蓮「佐藤一郎『エチカ』第一部の二つの因果性がめざすもの」再考——スピノザ哲学における無限様態研究の展望」＊
- ② 浦上祐子「ブリヤ＝サヴァラン『味覚の生理学』における「コンディヤックの分析的方法論」の受容——近代的学問としての「ガストロミー」の誕生をめぐる」
- ③ 長坂祥悟「「共感」と「共一パトス」——メヌ・ド・ビランとミシェル・アンの他者論」
- ④ 田中優一「ジャンケレヴィッチの道德の問題」＊
- ⑤ 畑田晃佑「解放の倫理学と解放の教育学——サルトル「1964年ローマ講演」とフレイレ『被抑圧者の教育学』を中心に」
- ⑥ 山本千寛「世界は人間の未来である：アンリ・ルフェーヴルの実存主義批判再訪」

第2部会 W205 教室（司会：①②平井靖史、③④⑤米虫正巳）

- ① 岡嶋隆佑「感覚と量——ベルクソン『物質と記憶』の成立の理解に向けて」
- ② 江崎拓真「バシュラール『瞬間の直観』における非連続的な「瞬間」の連続について」
- ③ 池田信虎「ミシェル・フーコーにおける個人(individu)概念について」
- ④ 佐原浩一郎「ライプニッツにおける系列の理由の外部性をめぐるドゥルーズとセールの理解の相違について」
- ⑤ 小泉空「ポール・ヴィリリオと（ポスト）構造主義試論」

第3部会 W308 教室（司会：①②③小倉拓也、④⑤信友建志）

- ① 花澤創一郎「ラカンとレヴィ＝ストロース」
- ② 信友建志「「否定」から「性別化」へ——ラカンの性別化図式の成立過程について」
- ③ 北村公人「ラカンにおけるドン・ジュアン：「性別化の式」を再検討する試み」
- ④ 得能想平「ジャン・イポリットにおける精神分析の位置づけ」＊
- ⑤ 有馬景一郎「フェリックス・ガタリの記号論における非シニフィアンの二つの方向」＊

第4部会 W309 教室（司会：①②③渡名喜庸哲、④⑤⑥西山雄二）

- ① 小泉圭徳「リクールの「ためらい」の問題——『意志的なものと非意志的なもの』を読む」
- ② 板部泰之「孤独の読み手レヴィナス——その文学論、プルースト読解を中心に」
- ③ 布施哲朗「レヴィナス『全体性と無限』第Ⅱ部享受論における主体の動物学的諸相(仮題)」
- ④ 村上倫「ブランショの言語論とヘーゲル批判——ラザロの形象を手がかりとして」
- ⑤ 山根佑斗「現れ、それでもなお——ジャン＝リュック・ナンシーにおけるスペクタル論の射程」
- ⑥ 小田麟太郎「アーレント『カント政治哲学の講義』に対するナンシー「定言命法」論の意義」

休憩 12:55-13:30

注：今回、教室使用の制約からスケジュールが詰まっているため、理事会は開きません。オンラインにて事前に開催します。

シンポジウム 13:30-16:50 W棟1階 文系6番教室

「記憶の哲学を問い直す」

この10年で、分析哲学とメモリースタディーズの領域では記憶研究が目覚ましい発展を遂げている。本シンポジウムでは、ベルクソン、精神分析、現象学の交錯する領域を開拓することで、新たな問いの削り出しを試みます。

13:30-13:45 平井靖史（慶應義塾大学）シンポジウムの主旨説明（二人称の記憶）

13:45-14:30 濱田明日郎（無所属）「記憶と私（たち？）の生成——『物質と記憶』以降のベルクソンの記憶概念の展開」

14:30-15:15 佐藤朋子（金沢大学）「痛み、記憶、自我分裂——精神分析とトラウマの問い（仮）」

15:15-15:25 休憩

15:25-16:10 川口茂雄（上智大学）「記憶の現象学、歴史のメディア哲学」

16:10-16:50 全体討議

懇親会 17:15-19:45

場所：北海道大学クラーク会館大集会室1（大会会場から徒歩5分ほど）

会費（予定）：5000円／学生・院生・非常勤職 3000円

基本的に事前予約制。下記のフォームから入力を御願います。3/10㍻切。

<https://docs.google.com/forms/d/1fwOLul32akrHeXFIZlboPblBaM4RHXTCcZxdYRBVLUg>

【お知らせとお願い】

1. 今後の大会

2025 年秋季大会は立教大学（池袋）にて、2025 年 9 月 13 日（土）-14 日（日）に開催されます。

2026 年春季大会は立命館大学にて、2026 年 3 月末に開催される予定です。

2. 会費納入のお願い

本学会の会計年度は毎年 9 月 1 日～8 月 31 日となっております。基本的に会員からの会費納入によって本学会の運営は成立しています。つきましては、会員の皆様には遅滞なく年会費(4000 円)を納入して下さいますよう、改めてお願い申し上げます。下記の学会振替口座から常時お振込みいただけます。

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 加入者名：日仏哲学会

※ゆうちょ銀行以外の金融機関からのお振込みは、以下をご参照ください。

銀行名：ゆうちょ銀行 金融機関コード：9900

店番：019 預金種目：当座 店名：〇一九店 口座番号：0194046

3. メールアドレスご登録のお願い

「会報」はメール添付での発送となっております（後日ウェブサイトで公開）。メールアドレスの変更がありましたら、学会ウェブサイト（<https://sfjp-web.net/admission/>）での「住所・所属変更申請フォーム」に記載をよろしくお願いいたします。

【日仏哲学会事務局】

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1

東京都立大学 人文科学研究科 西山雄二研究室内

メール：secretariat.sfjp@gmail.com

郵便振替口座記号番号：00120-6-194046 / 加入者名：日仏哲学会